



## 学校あん内をする (小学部2年生) 学校たんけんをする (小学部1年生)

5月19日(火)の5・6時間目は、いつもより校内が賑やかでした。その理由は、小学部の1・2年生が合同で校内巡りをしていたからです。これは両学年とも生活科の学習の一環で、2年生は「学校あん内をする」、1年生は「学校たんけんをする」という学習内容です。同じ空間で同じ行動をとっているように見えますが、「いかに分かりやすく伝えるか」が課題の2年生に対し、1年生は「学校には何があるか」ということを探る課題だと言えます。



2年生が準備した案内看板

「学校をあん内しています」と書かれた各班の旗を目印に、1・2年生混合で4~6人のグループを作って校内を巡りました。見学した校内の箇所は15か所に上り、訪れた場所毎にクイズを取り入れるなど2年生はかなり工夫をしていました。加えて、見学場所毎にスタンプが準備されており、まるで「日本100名城」のスタンプラリーを思わせる充実ぶりです。クリアした児童には折り紙のプレゼントがありました。折り紙をもっていった1年生の児童に声をかけたところ、「たのしかった〜」という感想を笑顔で聞かせてくれました。



## JSB よもやま話 (その1) un chat



最近、校内でよく黒猫を見かけるようになりました。自然豊かなここオーデルゲムでは、美しい声の小鳥や、かわいらしいリスの姿を楽しめます。以前グラウンドによく現れていたキツネを見かけなくなったのは寂しいですが、今は黒猫が新しい顔馴染みです。人懐っこい様子のこの黒猫は、首輪はありませんが近くの飼い猫かもしれません。本校へお越しの際は、この黒猫がお出迎えすることもあるかもしれませんね。

## 大きく育て（学校農園）



今年も、子どもたちが毎日水やりをする季節が訪れました。

昨年までの古い茎がきれいに片付けられ、黒いシートがぴしっと張られた学年ごとの畑には、今年も可愛い苗が植え付けられています。

天気予報では、今週末から厳しい暑さが始まるとのこと。のどが渇く野菜たちのために、毎日の丁寧な水やりを心がけていきたいですね。

## JSB よもやま話（その2）

天皇皇后両陛下が、6月20日（土）～25日（木）の日程でベルギーを公式訪問されることが、先日、日本政府から正式に発表されました。

天皇陛下のベルギーご訪問は、皇太子時代の1989年（37年前）に開催された日本文化紹介イベント「ユーロパリア」の際と、1999年（27年前）のフィリップ現国王の結婚式にご参列された際以来となります。

そのうち、1989年のご訪問時には本校への行幸（ご来校）が実現し、記念の植樹をしてくださいました。その桜（写真右）は今も校舎の外側で、春先には美しい花を咲かせ、その後にかわいらしいサクランボの実をつけています。

昨年度の夏休みに本校を訪れた卒業生の方から伺ったお話によると、植樹当時はこの桜の木は正門の左側に植えられていたそうです。今も元気に育っている歴史ある桜を、この機会にぜひご覧ください。



### 《 校長のつぶやき 》

「校長先生、『校長のつぶやき』を楽しみにしていますよ」と、温かい声をかけていただくことがあります。そんな本コラムですが、今年は子どもたちの話題を優先していたため、気がつけば今年度第2号以来、2度目の登場となりました。今回のテーマは、「人生の春・夏・秋」についてです。

「人生の春」といえば、心身ともに日々成長を続けている子どもたち。「人生の秋」を迎えているのが、私自身ということになります。そして、その間にある「人生の夏」といえば、仕事に子育てにと、まさに今、充実した多忙な時期を過ごされている保護者の皆さんではないでしょうか。

「秋」を迎えた私から見ると、新緑のように瑞々しい子どもたちは本当に眩しく、何でも愛おしく感じられます。私にはまだ孫はいませんが、「これがいわゆる『孫の可愛さ』か」と妙に納得してしまうほどです。

同時に、ふと自分が「夏」真っ盛りだった頃を思い返し、反省することがあります。当時は気力・体力ともに充実し、精一杯働く一方で、我が子に対して「頑張ること」を当たり前求めてしまっていました。「よく頑張ったね」「すごいね」といった言葉を、もっとかけてあげればよかった、と今になって思うのです。

いつか人は衰え、次の世代へバトンを渡していく——。「秋」を迎えた今の視点を持っていたなら、もっとたくさん褒めてあげられたのかもしれませんが。親から認められた記憶やエネルギーこそが、子どもたちが社会へ巣立つ土台（自己肯定感や自己有用感）になるのだと、今になって深く実感しています。

少し先輩の「親」からの老婆心ながらのアドバイスです。保護者の皆さん、どうか結果だけを求めるのではなく、お子さんが今、頑張っているそのプロセスをたくさん褒めてあげてくださいね。